

令和5年度第2回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会会議録

議題	(1) 患者支援センターの業務実績について (2) がん相談支援センターの業務実績について (3) 救急搬送状況について (4) その他
日時	令和5年9月29日(金) 午後7時00分 開会 午後7時45分 閉会
場所	ZOOM会議
出席者氏名	大木教久委員長、下里隆史副委員長、佐藤崇委員、山口哲也委員、小笹貴夫委員、菅原一朗委員、佐藤貴之委員、榎本浩幸委員、大久保敦子委員、加納健司委員 事務局(中沢事業管理者、藤浪病院長、栗山副院長、岩澤事務局長、益原患者支援センター所長、福田診療部長、高瀬医事課長、江崎患者支援センター担当長、岡野がん相談専従看護師、大山患者支援センター看護師主査)
資料	・ 地域医療支援委員会次第 ・ 1-1 令和5年度 紹介率・逆紹介率 ・ 1-2 診療科別紹介率・逆紹介率 ・ 1-3 紹介元・逆紹介先医療機関一覧 ・ 1-4 予約検査の件数表 ・ 1-5 患者支援センター相談実績 ・ 1-6 地域医療機関と連携した研修会等実績 ・ 1-7 登録医救急診察専用回線集計表 ・ 2 がん相談支援センター実績報告 ・ 3-1 医療機関別救急車搬送患者受け入れ状況 ・ 3-2 茅ヶ崎市消防 茅ヶ崎市立病院搬送状況 ・ 3-3 循環器HOTLINE集計表 ・ 4-1 茅ヶ崎市立病院登録医制度実施要綱 ・ 4-2 茅ヶ崎市立病院登録医制度実施要綱(案) ・ 4-3 茅ヶ崎市立病院登録医療機関申請書(案) ・ 4-4 茅ヶ崎市立病院登録医療機関変更届(案) ・ 4-5 茅ヶ崎市立病院登録医療機関辞退届
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0名

＜午後 7 時 0 0 分 開会＞

○事務局（益原患者支援センター所長）

皆様こんばんは。委員の先生方におかれましてはお忙しいところ茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会にご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、ただいまより令和 5 年度第 2 回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会を開催いたします。委員 10 名に対しまして、本日 9 名の委員にご出席いただいておりますので、委員会が成立いたしますことをご報告いたします。会議に先立ちまして、この 7 月 1 日より茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会の歯科医師会からの代表として、新たに歯科医師会長に就任されました下里先生に、副委員長に就任していただきました。就任に際しまして、下里副委員長から一言ご挨拶をお願いいたします。下里先生よろしくお願いいたします。

○下里副委員長

皆様こんばんは。お仕事が終わりお疲れのところ、ありがとうございます。以前、松井前会長の時は、私が 6 年間副会長をやっております、この度、会長になりました、下里隆史と申します。本会議の委員会名簿等を見ますと、副会長時代からの顔なじみの先生方が何人かいらっしゃいますので、一つよろしくお願いいたします。以上です。

○事務局（益原患者支援センター所長）

下里先生、ありがとうございました。それでは、次に茅ヶ崎市立病院の病院事業管理者であります、中沢事業管理者からご挨拶を申し上げます。中沢先生、よろしくお願いいたします。

○事務局（中沢明紀事業管理者）

茅ヶ崎市病院事業管理者の中沢でございます。本日は大変お忙しいところ、また夜間帯にも関わらず、今年度第 2 回目の地域医療支援委員会にご出席、誠にありがとうございます。平素より皆さま方には、市立病院の運営にご理解と、ご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。今年度も 6 ヶ月を過ぎようとしておりますが、5 月 8 日から、新型コロナウイルス感染症が 5 類になったところですが、まだまだ患者さんが多くて、8 月には発熱外来の患者さんも 1000 名を超すという状況になっております。

そのうちの半分はコロナ陽性という形で、入院患者さんは 8 月には 90 名と、かなりの患者さんを診させて頂いたところでございますが、ようやくここに来て、落ち着いてきたところでございます。また今年度の新たな取り組みといたしまして、ダヴィンチ手術支援ロボットの導入と放射線治療機器のリニューアルがあげられますけれども、おかげさまで、実績も徐々に伸びてきているところでございます。本日は 4 月から 6 月までの第 1 四半期の患者支援センターとがん相談支援センターの業務実績や、救急搬送業務を説明させていただき、ご意見をいただければと思っております。あわせて、今回この 4 月から市長から私の方に、任命権者が変わったということもございまして、登録医制度の実施要綱の見直しについてもあわせてご検討いただければと思っております。本日はどうぞよろし

くお願いいたします。

○事務局（益原患者支援センター所長）

続きまして、藤浪病院長よりご挨拶を申し上げます。藤浪先生、よろしくお願いいたします。

○事務局（藤浪病院長）

病院長の藤浪です。よろしくお願いいたします。皆さま方にお会いして、病院の現状をご報告して、またご意見をいただくという貴重な機会でもありますので、ぜひよろしくお願いいたします。ダヴィンチに関しましては、今、中沢先生がお話した通り、導入後、泌尿器科の前立腺の手術と外科は直腸の手術を順調にこなしています。また、大きな合併症もございません。湘南、茅ヶ崎市内では3番目の導入となりましたが、ぜひ、これからも患者さんを送っていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○事務局（益原患者支援センター所長）

それでは、これより先の議事進行につきましては、大木委員長にお願いいたします。大木委員長よろしくお願いいたします。

○大木委員長

こんばんは。大木です。円滑な議事進行を心がけてまいりますので委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。それでは議題に移ります。まず議題1の患者支援センターの業務実績について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

はじめに、資料の確認をさせていただきたいと思います。事前配布させていただきました資料といたしまして、

資料 1-1 令和5年度 紹介率・逆紹介率（6月）

資料 1-2 2023年6月 診療科別紹介率・逆紹介率

資料 1-3 茅ヶ崎市立病院 紹介元・逆紹介先医療機関一覧

資料 1-4 予約検査

資料 1-5 令和5年度 相談日誌（延件数）

資料 1-6 令和5年度 地域医療機関と関連した研修会等実績

資料 1-7 2023年度 登録医救急診察専用回線による紹介患者集計表

資料 2 令和5年度 がん相談支援センター実績報告

資料 3-1 2023年度 病院別救急車搬送件数の状況（茅ヶ崎市消防）

こちらの資料3-1につきましては、一部修正がありましたので、メールやファクス等で昨日お送りさせていただいておりますが、もしお手元にお持ちでない先生がおられましても、画面共有をさせていただきますので、そちらの方をご覧ください。

資料3-2 茅ヶ崎市消防令和5年度茅ヶ崎市立病院搬送状況（行政地区別）となっております。

今回、検討事項の方でも挙げられておりますが資料4-1として、茅ヶ崎市立病院登録医制度実施要綱と資料4-2がその実施要綱の案となっております。資料4-3が、茅ヶ崎市立病院登録医申請書、資料4-4が、茅ヶ崎市立病院登録医療機関変更届、資料4-5が茅ヶ崎市立病院登録医療機関辞退届となっております。皆様、資料の方は揃っていますでしょうか。そうしましたら、報告の方に移らせていただきます。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

それでは、令和5年4月から令和5年6月の患者支援センターの業務実績について説明させていただきます。患者支援センターの江崎です。よろしくお願いします。まず、資料1-1をご覧ください。令和5年度 紹介率・逆紹介率の表となります。年度累計の紹介率、逆紹介率をご覧ください。令和5年4月から令和5年6月の紹介率の平均は、70.2%、逆紹介率の平均は、93.5%です。令和4年度平均と比較いたしまして、紹介率は6.2%、逆紹介率は7.5%と緩やかな上昇が見られております。地域医療支援病院の承認要件である紹介率65%以上・逆紹介率40%以上の基準も満たしております。

続きまして、資料1-2をご覧ください。

令和5年6月と同年4月から6月の累計 診療科別 紹介率・逆紹介率の表です。令和5年4月から6月の右上にある年度累計の欄をご覧ください。紹介率は、左端の番号11番の呼吸器外科、23番の放射線治療科、25番のリハビリ科が100%となっており、また逆紹介率は、11番の呼吸器外科、23番の放射線治療科、6番の循環器内科の順に高くなっています。逆に紹介率が低い診療科は1番の総合内科が26.5%、9番の小児科が52.4%、21番の歯科口腔外科が58.8%となっております。

続きまして、資料1-3をご覧ください。

令和5年4月から令和5年6月の累計、紹介元・逆紹介先医療機関一覧です。紹介元は、医療機関名と紹介患者数、その内の検査件数を表しています。紹介元および逆紹介先医療機関共に、やまもと内科クリニック・藤川整形外科・大木医院の順に多くなっています。令和4年4月から6月と比較いたしますと、左端の数字の24番のこどもクリニック松が丘、25番の寒川こどもとアレルギーのクリニック、30番の茅ヶ崎こどもの森クリニックと小児科からの紹介患者数が急増し、小児科の感染症が流行期にあることがうかがえます。

続きまして資料1-4をご覧ください。

予約検査の件数表です。令和5年4月から令和5年6月の実績です。前年度と比較いたしまして増加している検査項目は、CT・マンモグラフィー・骨密度・GF・腹部エコー・甲状腺エコー・頸動脈エコー・脳波・筋電図・栄養指導です。土曜日の検査予約につきましては、4月から6月まで34件の紹介がありました。

続きまして資料1-5をご覧ください。

令和5年4月から令和5年6月までの、月別相談延べ件数表です。相談には、看護師と社

会福祉士が対応しています。相談件数は新規、継続件数合わせて2,631件となり、昨年度と比較いたしまして、188件の増加となりました。相談対応総数は3,593件で、相談内容の多い項目としては、在宅退院に向けての退院相談が最も多く1,045件、次に転院に向けての退院相談が710件、次のがん患者の相談が327件となっています。コロナ禍となり在宅を希望される患者さんが増加し、昨年度より在宅への退院相談が転院に向けての退院相談を上回る結果となりました。対応方法は電話での相談対応が1,303件と相談件数が多く、昨年度と比較して58件の増加となりました。しかし、対面での相談件数は面談対応が831件、IC同席が172件と合計して1,003件と昨年度と比較いたしまして183件の増加となり、対面での相談が徐々に増加しています。院外関係者とのカンファレンス件数も28件で昨年度と比較しますと21件の増加となりました。引き続き対面での相談対応等を行っていききたいと思っております。

続きまして資料1-6をご覧ください。

令和5年度地域医療機関と連携し、茅ヶ崎市立病院で開催した研修会等の実績です。4月から6月までに6回開催いたしました。開催方法は感染対策を行いながら対面での開催となりました。今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながらセミナー等の開催を行っていききたいと考えております。

資料1-7をご覧ください。

令和5年度登録医救急診察専用回線の対応件数となります。

対応件数は122件で前年度より49件増加いたしました。入院になったケースは59件で、約48%となっており、昨年度と比較しまして36件の増加となりました。回線の目的にあった患者さんのご紹介を多くいただいております。診療科につきましては、例年通り小児科が79件と最も多く、昨年度と比較いたしますと50件の増加となり、また入院患者数も27件と増加し、小児の感染症が流行期にあった事がうかがえております。入電時間は、午前は9時台で午後は17時台が最も多くなっています。医師の交替等により、電話におつながずするのに時間を要してしまうケースも時に発生しております。問題のケースは改善をはかりながら、なるべくお待たせすることなく、ご指定の診療科の医師におつながざできるよう努めてまいりたいと思います。報告は以上となります。

○大木委員長

説明が終わりました。議題(1)について委員の皆様からご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大木委員長

特にございませんか。令和4年から令和5年にかけては、件数が増えてきている、全般的にということですね。よろしいですか。質問のある方は、ミュートを外して発言をしてください。他になければ議題(1)は終了したいと思います。よろしいですか。意義なしということで議題(1)は以上をもちまして終了いたします。次に議題(2)のがん相談支援センターの業務実績について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（岡野がん相談専従看護師）

がん相談支援センターを担当しております、がん相談専従看護師の岡野です。よろしくお願いいたします。

それでは、がん相談支援センター令和５年度４月～６月の業務実績についてご説明いたします。資料２をご覧ください。相談件数は、３ヶ月で延べ３１３件です。前年度より８６件増加しました。１人の患者さんに対して複数回関わるケースがあるため件数の増減があります。次に支援方法は、対面相談が２４１件・電話相談が７２件です。相談依頼ルートについては、患者ご本人が一番多く１１９件、次にご家族が４７件、医師からの依頼が８４件・看護師より４０件ありました。相談内容の内訳については不安・精神的苦痛は２０８件、症状・副作用・後遺症の相談が、１９８件、がんの治療について１３２件、在宅医療８５件、ホスピス・緩和ケア２７件でした。

相談内容は、不安・精神的苦痛などが一番多くなっています。最近では、インターネットでがん患者さんのブログなどを読み自分も同じように病気などが悪化してしまうのではないかと心配され、相談に来られる方も多くなっています。当院に受診されている方はもちろんですが、他院に受診されている方も同様です。国立がんセンターが出している情報サイトなどのご案内をしながら正しい情報を得ていただけるようにしている事、面談の際には、「がんライフ」や「がんサポートハンドブック」などもお渡しています。

主治医の先生が一番患者さんのことを知っておられる為、病気治療に関しては事前に質問内容をメモするなどして聞きたい事を聞いていくことで不安が軽減される場合もありました。また患者支援センター前の情報コーナーに国立がんセンターから出ている「がん情報探しの１０カ条」というリーフレットを設置、少しでも多くの方へ知っていただけるよう配慮しています。今後も引き続きがん相談支援センターの支援内容を知ってもらえる様に周知活動を続けていきたいと考えます。説明は以上になります。

○大木委員長

説明が終わりました。議題（２）について委員の皆様からのご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大木委員長

特にございませんか。がんの相談件数も増えてきたことで、だいぶコロナ前に戻りつつあるってことですね。他に質問がなければ議題（２）は終了したいと思います が、いかがでしょうか。

○大木委員長

異議なしとのことなので、議題（２）は以上をもちまして終了いたします。次に議題（３）の救急搬送状況について事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（高瀬医事課長）

続きまして、議題３「救急搬送状況」につきまして、ご説明を申し上げます。医事課長

高瀬でございます。よろしく願いいたします。資料につきましては、資料 3-1 から資料 3-3 でございます。資料 3-1 につきましては、差し替えがあり大変申し訳ございません。差し替え後の資料をご覧くださいようお願いいたします。資料につきましては、画面共有もさせていただきますので、ご都合にあわせてご覧くださいませ。

それでは、資料 3-1、上段の表をご覧ください。こちらは、茅ヶ崎市消防の救急搬送件数を搬送先の医療機関ごとに月別で集計したものでございます。令和 4 年度に広域化されましたので、寒川町からの搬送も含んでいる数値でございます。表の右側の年度累計、当月までの欄をご覧ください。こちらは、令和 5 年度と前年度の 6 月までの合計と割合を表したものでございます。全体の搬送件数が前年の 3,619 件から 3,890 件に増加していますが、残念ながら当院への搬送件数は減少しておりまして、同じく減少している茅ヶ崎徳洲会病院を除いた他の病院への搬送件数が伸びているという状況です。

当院の搬送件数の減少につきましては、今年度 4 月より常駐の脳神経外科医の配置がないために、救急受入が応需できないという事情がございます。脳神経外科に関する救急受入の応需件数につきましては、口頭での説明になり恐縮ではございますが、4 月が 56 件、5 月が 58 件、6 月が 39 件となっております。救急受入時の状況を丁寧にヒアリングするなどにより、7 月は 30 件まで減少しているところでございます。引き続き茅ヶ崎市消防とも連携を図るなど、可能な限り応需できる体制としているところでございます。

下段の表をご覧ください。こちらは診療科別に救急車の受入件数と受け入れたうちの入院者数を表したものでございます。表の下、欄外一つ目の※（こめじるし）にございまして、茅ヶ崎市消防に限らず、救急車で当院に搬送された件数となりますので、上段の表の当院の件数より多くなっていることがございます。また 2 つ目の※のとおり受入数のカウントについては、最終診療科となっております。

また、※3 つ目及び 4 つ目のとおり、入院数については救急での診療科でない場合があることと、カッコ内の数値につきましては、総合内科で初診を行い、その後別の診療科へ入院となった件数でございます。6 月を例としてご説明いたしますと、総合内科入院数(87)件となっております。その下に入院数が書いてある中の（）内の数字をすべて足すとこの総合内科の入院数が 87 になるというような仕組みになっております。それでは、説明に入らせて頂きます。下段の表一番下の入院率につきましては、各月とも 30%を超えており、右側の年度累計を見ましても、前年度 27.8%から 34.8%と 7 ポイント増加しているところでございます。入院率の増加につきましては、年度当初に藤浪病院長より、令和 5 年度はポストコロナの時代に入り、一般医療を意識した診療をする上で、特に救急車で来院患者の医療安全に配慮するために必要がある場合は入院いただくようにする方針が出されたこともあり、取り組みの結果が具体的に数値に現れたところでございます。

各診療科の受入数の前年度との比較につきましては、表の右側年度累計（当月まで）にございます。表中の 23 診療科中 7 診療科で増加、13 診療科で減少、1 診療科で横ばい、2 診療科で対象者なしとなっております。増加が顕著だったのが小児科となっております。RS ウイルス感染症等のウイルス感染症の急増による受診が増えたためとなっております。

続きまして資料 3-2 をご覧ください。こちらは、令和 5 年度の茅ヶ崎市消防による市立病院への搬送件数を地区別に分類したものでございます。

資料、一番下の合計の欄をご覧ください。

一番左の茅ヶ崎地区を例としてご説明いたします。合計欄の 4 つの欄のうち、右上の 933 件につきましては、この地区から搬送された患者の合計件数、左上の 245 件がそのうち当院に搬送された数で、右下の 26.3%がその割合となっております。以下、鶴嶺地区からは 294 件で 32.5%、松林地区からは 365 件で 30.8%、小出地区からは 43 件で 26.9%、寒川町地区からは 136 件で 19.3%となっております。

また、各地区からの市立病院への搬送件数の割合につきましては、先ほどご説明しました 4 つの欄の左下になりまして、茅ヶ崎地区が 22.6%、鶴嶺地区が 27.1%、松林地区が 33.7%、小出地区が 4.0%、寒川町地区が 12.6%となっております。続きまして資料 3-3 をご覧ください。「循環器内科 HOTLINE」の集計表となります。「循環器内科 HOTLINE」につきましては、スムーズな地域連携を目的として令和 2 年 12 月から運用している、地域の先生方と当院の医師を専用の電話番号で直接結ぶ仕組みとなります。当初は 24 時間 365 日の対応でしたが、令和 4 年 11 月より運用時間を平日 8:30~17:15 として運用しております。

上段の表につきましては、ホットラインの利用件数と入院の有無となっております。今年度 6 月までの実績で、合計 6 人、そのうち 2 人が入院されています。下段の来院経路内訳では、4 人の方が直接の来院で、救急での来院がお 2 人でした。

ホットラインの利用状況につきましては、前回の委員会で報告さし上げましたとおり 1 月から 3 月までの実績件数も 6 件となっております、地域の先生方にもう少し身近に感じていただく必要があることを認識しているところでございます。その取り組みといたしまして、6 月に救急診療の利用方法と題しましたチラシを登録医の皆様へ送付させていただいているところでございます。また、現在の取り組みといたしましては、先生方の診療室等の身近な場所にホットラインの連絡先を掲示いただけるような形を考えておりまして、キャッシュカード大のマグネットシートの作成を検討しているところでございます。説明は以上でございます。

○大木委員長

説明が終わりました。議題（3）について委員の皆様からのご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大木委員長

特に救急搬送のところは、よろしいでしょうか。質問がなければ、議題（3）は終了したいと思います。いかがでしょうか。

○大木委員長

異議なしとのことなので、議題（3）は以上をもちまして終了いたします。次に議題（4）の検討事項、茅ヶ崎市立病院登録医制度実施要綱の見直しについて事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（益原患者支援センター所長）

益原からご説明申し上げます。資料の 4-1 から 4-5 になります。茅ヶ崎市立病院登録医

制度実施要綱の見直しについてご説明いたします。従来、登録の申請については、茅ヶ崎市長宛に文書を出していただいていたのですが、この度、病院事業管理者の就任に伴いまして、申請先の修正を行いたいと思います。また、従前の登録内容の変更であるとか、辞退、登録期間、取り消しについての規定がございませんでしたので、それらについての規定を追加いたしました。新たな申請様式については、資料の 4-3 から 5 として添付してございますが、すべて、病院事業管理者宛に申請を出していただくこととなります。それから資料 4-2 がまだ案の段階でございますので、こちらは後日文言を修正して最終決定とさせていただきますように思っております。以上です。ご協議よろしく願いいたします。

○大木委員長

説明が終わりました。議題 4 の (1) について委員の皆様からご意見、ご質問があれば伺いたいたと思いますが、いかがでしょうか。

○大木委員長

特に、いいでしょうか。少し形式的な文言で、変化があれば申請書をもう一度各登録医が出すというような形でしょうか。他に質問がなければ、議題 4 の 1 は終了したいと思いますがいかがでしょうか。異議なしということなので議題 4 の (1) は以上をもちまして終了いたします。次に、議題 4 の検討事項の (2) の病診連携予約枠からの紹介について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（益原患者支援センター所長）

それでは、病診連携予約枠からのご紹介について、ご説明をいたします。消化器内科、代謝内科に引き続きまして、本年の 4 月から循環器内科でも、診療情報提供書を事前に送付していただいております。おかげさまで、大きな問題もなく、初診の診療を大変スムーズに行えるようになりました。今後、さらに内科系の全診療科、総合内科、神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、リウマチ膠原病内科、さらに小児科への拡大を考えております。こちらは準備が整い次第開始させていただきたいと思いますので、ご協議のほどよろしくお願いいたします。

○大木委員長

以上ですね。次に、議題 5、その他について委員の皆様、事務局から何かございますか。

○下里副委員長

すみません、資料 4-5 が入ってなかったもので、PDF でもあれば欲しいのですが。

○事務局（益原患者支援センター所長）

すみません、資料 4-5 が、多分抜けておりまして、あとで配布させていただいたかと思うのですが、登録医療機関の辞退届が資料 4-5 になっております。

○下里副委員長

はい、ありがとうございます。これはデータとしても、各委員には、メールで届くんですか。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

はい。他の先生方にも入ってなかったですかね。はい。そうしましたら、皆様方にメール、ファックス等で送らせていただきたいと思いますので、申し訳ありませんでした。よろしく願いいたします。

○大木委員長

他にございますか。この茅ヶ崎市立病院登録医期間変更届というのは、各登録医のところに市立病院から直接送るということで良いですね。

○事務局（益原患者支援センター所長）

こちらは先生方の方で、何か内容に変更がありましたという時に、お知らせいただければと思っております。

○大木委員長

そうですか。はい。

○事務局（益原患者支援センター所長）

登録いただいている先生はそのまま、内容的に何もなければ結構でございます。

○大木委員長

今回は登録医の申請のし直しは、郵送で行うということですね。

○事務局（益原患者支援センター所長）

今登録いただいている先生はもうそのまま結構でございます。今後、新たな場合にこちらでということになります。

○大木委員長

はい。他に何か皆さんからございますか。特に何かなければ、本日の議題はすべて終了といたします。皆さんどうも、ありがとうございました。